

# 【かんたんガイド】SwitchBotPlugMini\_Eyeアプリ

このアプリは、「Windows/パソコンの視線入力で、家電品（扇風機やライトなど）をON/OFFする」ために作ったツールです。基本的にマウスポインターの操作で使えますので、視線入力だけでなくZonoやJINS ASSIST等によるヘッドトラッキング入力やポインティングデバイス（マウス、トラックパッド、トラックボール、ジョイスティック型マウスなど）に入力できればOKです。

## 1. 準備するもの

- (1) **Windows/パソコン**: 視線入力装置 (Tobii Eye Tracker 5など) と視線マウスアプリが動いているもの。
  - ※ 視線入力では使わないという場合、視線入力装置と視線マウスアプリは必要ありません。
  - ※ 視線マウスアプリとは、EyeMoT Mouse、Mill Mouse、miyasuku EyeConLT2などのことです。
- (2) **SwitchBotプラグミニ**: コンセントに差し込んでおきます。
- (3) **動かしたい家電品**: SwitchBotプラグミニに差し込み、主電源スイッチを「ON」にしておきます。
- (4) **Webカメラ**: 必須ではありませんが、動かしたい家電品をユーザーに認識してもらいやすくなるので便利だと思います。
- (5) **SwitchBotアプリ**をインストールしたスマートフォンとWi-Fi: 初期設定の時に必要です。
  - ※ 初めてSwitchBot製品やSwitchBotアプリを使う方は、こちらのサイトを読んで設定しておきましょう。→

<https://bot-lab.tech/switchbot-howtouse/>



## 2. スマートフォンでSwitchBotプラグミニのBluetooth用MACアドレスを調べます

- (1) SwitchBotプラグミニをコンセントに差し込みます。
- (2) スマートフォンのSwitchBotアプリを立ち上げます。



SwitchBotアプリをタップします



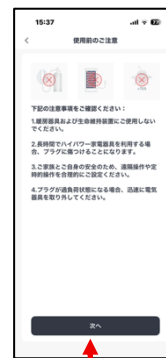
【デバイスを追加】をタップします



下から上にスクロールします



【プラグミニ (JP)】をタップします



【次へ】をタップします

- (3) 使用するSwitchBotプラグミニのBLE-MACを調べてメモしておきます。



SwitchBotプラグミニの本体側面にある電源ボタンを2秒ほど長押しして、本体表面にあるランプを点滅させます

ランプが点滅したら【次へ】をタップします



BLE-MACの右に表示された文字列をメモしておきます  
例 → A0:E3:2C:4E:31:DE

### 3. 支援者が次の設定をします

アプリ【SwitchBotPlugMini\_Eye.exe】を [GitHubのダウンロード先](#) からダウンロードしたらダブルクリックして起動しましょう。

#### (1) SwitchBotプラグミニを探す

- ① 【🔍SwitchBotプラグミニを探索】ボタンを左クリックします。
  - ・5秒ほどで自動的にSwitchBotプラグミニを見つけます。
  - ・【🔍SwitchBotプラグミニを探索】ボタンの右の文字が「スキャン待機中」→「**スキャン中...**」→「完了」になればOK。
- ② 【ペアリング:】の右にある枠の下向きV印を押して、2. (3)でメモしたBLE-MACと同じ文字列を探して左クリックします。
- ③ 【接続】ボタンを左クリックします。
  - ・【🔍SwitchBotプラグミニを探索】ボタンの右の文字が「**接続中...**」→「**接続完了**」になればOK。

#### (2) カメラを選ぶ

スイッチONボタン（緑色の四角）に家電品が映るようにしたい時には「カメラ1」または「カメラ2」を選んでください。

※「カメラ」は外付Webカメラ（USB接続）、ノートパソコンのインカメラ、iVcamなどが自動で選ばれます。

※外付けWebカメラのみ使用したい場合は、Windowsの設定アプリから Bluetoothとデバイス＞カメラ＞接続済みカメラ  
に表示される外付けWebカメラ以外のカメラを無効にしてください。

#### (3) 操作音の有無を選ぶ

SwitchBotプラグミニがONになった時とOFFになった時に音が鳴ります。

音を鳴らしたくない場合は口を左クリックしてチェックマークをはずしてください。

※使用するWindowsパソコンの機種によっては音が鳴らないことがあります。

#### (4) 動作モードを選ぶ

① **クリック/注視でタイマー実行**: ボタンの中でマウスクリックすれば、タイマー設定した時間、家電品ON。

② **マウスオーバーでタイマー実行**: マウスポインターがボタンの中に入った瞬間、タイマー設定した時間、家電品ON。

③ **マウスポインターがボタン内にある間ON**: マウスポインターがボタンの中にある間ずっと家電品ON。

※視線入力装置と視線マウスアプリを使ってマウスポインターを視線で動かせば上記3つの動作モードが働きます。

※注視時間は視線マウスアプリで決めてください。

※①②でタイマーが実行されて家電品がONになると**実行中〇秒**という文字がカウントダウン表示されます。

※③で家電品がONになると**実行中**という文字が表示されます。

※動作モード①②③はラジオボタンだけでなく、キーボードの[1][2][3]を押して切り替えることもできます。

#### (5) タイマー秒数を決める

動作モード①や②を選ぶ場合、スライダーを動かして1秒～180秒でタイマー設定（＝設定した時間、家電品ON）します。

#### (6) ボタンサイズを選んで適切な場所に配置する

スイッチONボタン（緑色の四角）はサイズが特大・大・中・小から選べて、ドラッグ操作で配置場所が移動できます。

#### (7) 全画面表示ができます

キーボードの[F11キー]を押すと、全画面表示とウィンドウ表示を切り替えることができます。

※全画面表示でキーボードの[ESCキー]を押すとウィンドウ表示に替わります。

### 4. ユーザーが操作してみましよう

設定が終わったら、画面中央の**緑色の四角形**が家電品を動かす（＝家電品のスイッチをONにする）ボタンになります。

・**家電品を動かす**: 緑色の四角形のボタンの中にマウスポインターを動かしましょう。

・**ONのしるし**: 家電品がONになると緑色の四角形のボタンの枠が **赤色** になります。

